

# 教育計画

## 1. 平成28年度 学校経営

### 1 学校教育目標

#### 『自ら考え実行する生徒』

- 学力を高める 自らすすんで学習する生徒
- 心身を鍛える 体の健康づくり・心の健康づくりをする生徒
- 進んで働く 進んで汗を流す生徒
- 物を大切に使う 公共物を大切にし、正しい判断をする生徒

### 2 学校経営の理念

#### 生徒一人一人のよさを見つけ伸ばす教育の推進

生徒一人一人は、よさ・可能性を授かっており、それを開花させるには、その生徒に合ったよりよい環境において陶冶することである。

そのために、生徒にとって最大の環境である教員が価値ある教育活動を通し、生徒に感化し、教え育てることで、生徒のよさ・可能性を引き出す。

### 3 学校経営の基本方針

- 学校教育の使命を自覚し、保護者や地域社会の信託に応え、地域に根差した元気な学校づくりを進める。
- わかる授業を推進し、確かな学びと豊かな学びのある学校づくりを進める。
- 心の教育の充実を全教育活動の基盤に据え、豊かな人間性と社会性の育成に全力を尽くす。

### 4 目指す学校 〈信頼される学校を目指して〉

- ・学校は安全なところ、楽しいところ、きれいなところ
- ・学校は生徒にやる気を起こさせ、確かな学力をつけるところ
- ・学校は生徒に豊かな心を育むところ
- ・学校は生徒にたくましい身体を育むところ
- ・学校は生徒・保護者に愛され誇れるところ

※生徒の心情をゆさぶり、生徒自らが「気づき、考え、行動する」教育を行う

## 5 育てたい生徒像

- ・ 真剣に学習に打ち込む生徒
- ・ あいさつがしっかりできる生徒
- ・ 時間を守る生徒
- ・ いじめをしない、思いやりのある生徒
- ・ 汗を流して働く生徒
- ・ 部活動などで心身を鍛える生徒
- ・ 健康・安全に気をつけ、交通ルールを守る生徒
- ・ 公共物を大切にし、人のために頑張れる生徒

## 6 望まれる教師像

- ・ 生徒の気持ちを理解し、生徒にやる気を起こさせる教師
- ・ 常に研究と修養に努め、自ら学び続けようとする教師
- ・ 組織の一員としての自覚を持ち、自ら厳しさのある教師
- ・ 研究旺盛でプロの教育者として自負心を持ち続けられる教師
- ・ 理想を追い求め、率先垂範する教師
- ・ 教育公務員としての使命を自覚し、信頼される教師

## 7 今年度の指導の重点

### (1) 授業の充実

- ア 教材研究を十分行い、自ら学び自ら考える力などの「生きる力」の育成に努める。
- イ 基礎的・基本的な内容を重視した指導計画の工夫と改善を図り、確かな学力を定着させる。そのためにも宿題や家庭学習等の充実を図る。
- ウ 授業のルール・マナーを徹底し、学ぶ集団としての質を高める。
- エ 学習指導目標の明確化を図り、わかる授業の充実に努め、達成感を感じることが出来る授業を展開する。
- オ 学力の向上を目指し、生徒の学習意欲の向上を図るため、学習形態や指導体制の工夫・改善を図り、個に応じた指導の充実に努める。
- カ 筋道を立てての思考、表現活動を重視（個別指導の充実）した教育活動を行う。
- キ 評価規準を明確にし、指導と評価の一体化を図るとともに、目標に準拠した評価を適切に実施するための方法、時期等の研究を推進する。

### (2) 学年・学級経営の充実

- ア 学級は学校生活の基盤である。安定した生活が確立できるようチャイム着席などの各種のコンクール・キャンペーンを意図的・計画的に推進する。
- イ 生徒と教師の信頼関係を培うとともに、生徒相互の豊かな人間関係を育て、互い

のよさを認め合い、支え合う学年・学級づくりを推進する。

ウ 学級、学年相互の連携を密にし、共通理解のもとに学級・学年経営の実践を図る。

### (3) 道徳教育の充実

ア 豊かな心と正しいことを着実にやり抜く強い意志を育てる。

イ 指導計画に基づき、道徳の授業を着実に実践すると共に、「心のノート」を活用し、授業の工夫改善を進める。

ウ 人間としての生き方について考えさせるために、ボランティア活動や豊かな社会体験活動等を進める。

### (4) 特別活動の充実

ア 生徒が主体的に活動できる機会や場を設定し、生徒一人一人のよさを具体的に引き出し、認め、育てる工夫を行う。

イ 生徒一人一人が自己の進路に対する明確な目的意識を確立し、希望と自信を持って積極的に学校生活に取り組めるよう指導・援助を計画的、継続的に行う。

ウ 将来にわたっての「生き方」について考えさせる進路指導・キャリア教育を推進する。

### (5) 生徒指導の充実

ア 「やってみせ 言って聞かせて させてみて ほめてやらねば 人は動かじ」の姿勢で生徒との信頼関係を築き、生徒の自己実現を支援する。

イ 「時を守り、場を清め、礼を尽くす」指導を推進し、生徒が精神的に安定した秩序ある環境をつくる。

ウ 問題行動には、保護者、関係諸機関と連携し適切に対処し、学校の静謐な環境を維持する。

### (6) 教育相談の充実

ア 生徒の悩みや問題行動の解決を図り、望ましい成長と自己実現への支援に努める。

イ 各種相談活動を継続的かつ迅速に行い、共感的理解に努める。

ウ 不登校生徒への指導体制の確立と指導・支援に努める。

エ 関係諸機関やさわやか相談員等との連携を密にして、指導・援助に努める。

### (7) 進路指導・キャリア教育の充実

ア 職場体験や福祉体験などの啓発的な体験学習を通して、立志の心を育くむ。

イ 進路相談を充実し、生徒が主体的に進路を選択できるように支援する。

ウ 家庭や関係諸機関との連携を深め、計画的、組織的に3年間を見通した生き方指導を推進する。

### (8) 総合的な学習の時間の充実

ア 基礎基本の充実を図り、学力の向上に努める。

イ 生徒が自ら課題を見つけ、自ら学び自ら考え、課題を解決する活動が展開できる

よう創意工夫し、組織的・計画的な取り組みを推進する。

ウ 人と人の関わり合いをとおして「共助」意識の育成を図る。

エ さまざまな学び方を用いて探究した結果を発表する力の育成を図る。

オ 地域の職場や仕事について理解するとともに、将来への目標を持たせる。

#### (9) 環境教育の充実

ア 環境教育に対する教職員の理解を深め、全教育活動をとおして取り組む。

イ 「葛中クリーン作戦」をとおして、環境を大切に作る心を育てる。

#### (10) 特別支援教育の推進

ア 特別に配慮を要する生徒の障がいのを的確に把握し、指導の手立てを具体的に立て、計画的に指導・援助を行う。

イ 集団指導体制による基本的な生活行動と安全行動の定着化を図る。

ウ 体験活動や集団行動への参加と社会的自立の促進を図る。

エ 異学級、異学年、他校との合同学習・交流等の推進を図る。

#### (11) 人権教育の充実

ア 「からかい」「冷やかす」ゼロを目指し、「いじめ」や「差別」につながる言動の防止を全職員で指導する。

イ 学校同和教育を中心とした人権教育について、正しい理解を深める指導を計画的に行う

#### (12) 豊かな心が育つ教育環境づくりの推進

ア 学年・学級経営が見える教室環境、清潔で潤いのある学校環境をつくる。

イ H P、学年通信、学級通信などを利用して、情報の提供を積極的に進める。

ウ 日常の読書活動を推進する。(図書館の利用促進、具体的な読書活動の推進)

#### (13) 健康教育の充実

ア 虫歯治療率100%を目指し、啓発活動を推進する。

イ 保護者と連携し、「早寝・早起き・朝ご飯」運動を推進する。

#### (14) 学校事故の防止

ア かけがえのない「命」を預かっているということを常に忘れず、生徒の安全について十分配慮する。

イ 学校施設・設備の定期的な点検、危険箇所等の早期発見と補修、避難訓練、安全指導を行う。

ウ 不審者情報があった場合は、マニュアルに沿って迅速に対応し、生徒の安全を確保する。

エ 教育公務員としてのサービスを保ち、信用失墜行為を根絶する。

個人情報（公簿等）紛失、体罰、暴言、セクハラ、わいせつ事故、飲酒運転、著作権侵害、会計（金銭）事故

## 〈今年度の最重点指導項目〉

昨年度、生徒は大変落ち着き、教育活動の成果が大いに上がった年であった。特に、部活動が各種大会で目覚ましい活躍をすることで、保護者、地域住民の本校への信頼を取り戻してきている。

今年度は、本校の基盤となる活動、すなわち行事、部活動、ボランティア活動を一層充実させることで、学習指導への波及効果を追求したい。

**今年度のスローガンは、「葛中、新たな伝統づくり」としたい。**

具体的には、

- (1) 生徒が静謐な環境の中で教育活動に取り組むことが肝要である。特に、**授業規律を守り落ち着いて取り組むこと**。この環境を乱す行為には、毅然とした態度で対応する。
- (2) **授業では、基礎・基本を徹底すること**。そのために、授業の工夫改善、漢検、数検等の各種小テストの実施、家庭学習の充実を推進する必要がある。特に、「葛中学びのすすめ」の改定、各種テストを全校的な視野で見直し基礎学力テストを実施すること、家庭学習を促進する方策の検討である。
- (3) **生徒が部活動に主体的に取り組めるよう、生徒の実態に応じて計画的に厳しく鍛える指導をする**。特に、生徒に**あいさつの徹底、道具を大切に**する、**日ごろの練習を全力でする**、を浸透させ、達成感を味わわせること。
- (4) ボランティア活動を意図的、計画的に提供し、生徒の奉仕の精神を涵養する。学校で行う、大風マラソン、介護ボランティア、小学校の学習支援ボランティア、葛中クリーン作戦に加え、学年などで小さなボランティア活動を設ける。
- (5) 行事を盛り上げ、生徒に達成感を味わわせ、学級・学年の所属意識を高める。体育祭、合唱コンクールは、本校の2大行事であり、保護者、地域住民も楽しみにしているので、本校の教育成果のアピールする場とする。
- (6) 毎週道徳の授業を実施し、生徒の心を耕す場とする。学年で教材を融通したり、保管したりして道徳の授業を充実させる。
- (7) 学級、学年の教育環境を整備し、潤いのある環境で教育活動をする。特に、床のごみを拾い、ごみのない美しい環境を維持する。また、生徒の作品や学級経営が反映された時季にあった掲示物を作成する。
- (8) 下足箱にクツのかかとをキチンと揃えて入れさせる。
- (9) 生徒のよさを認め伸ばす「葛中まごころ賞」を積極的に推進する。ボランティア活動や善行に対して賞揚する。